

---

# 不器用な細工師in神殿

柏原 福子

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

不器用な細工師in神殿

### 【Nコード】

N0961Z

### 【作者名】

柏原 福子

### 【あらすじ】

11歳の時から後宮生活に終わりを告げる。侯爵家の次女リアーナは皇帝に愛されることなく9年という時を過ごす。疲れ切ってしまった彼女は幸いにして『細工師』でもあった。『細工師』とは、武器、防具、装飾品に生活用品、あらゆるものに魔法を発動させることができる細工を施すことができ、魔法使いと同じく需要ある職業だった。多くは帝都に個人の店を構えるか、ギルドに入るか、(少し違う事もあるが)どちらにしても食いっぱぐれることはない職業である。

後宮にはいたくないし、食っていける仕事もある。こうなりゃ、脱走するしかないわよね。・・・そんなこんなで細工師となつたわたしだけど、なぜか滅多に勤めることがないはずの神殿に勤めている。ここ、後宮からも、城からも近いんですけど・・・orz  
そんなリアラーナの笑い（予定）もシリアス（は、）も戦い（未定）もラブ（！！）もありなそんな話。 優柔不断な作者の処女作です。

## 脱走します

運命だと思った。

わたしとあの人の間に阻むものなんて何もなくて、すぐにでもあの人の婚約者になって、幸せな結婚をしてあの人の隣で微笑んでいはず。

これが十二の時。

でもそれは、ぜんぜん確かな未来じゃなかった。だって現に、わたしは未だに後宮にいる一人のお妃候補。正式な婚約者じゃない。もう何度、「なぜ」ということを考えていたんだろう。自分が悪いような気がして、派手な生活なんて楽しめるわけがなかった。これが十五の時。

もう、考えるのも嫌で、周りの人全員の視線が嫌で、新しく入ってくる人が嫌で、でも意地を張ることも出来ないわたしはまた一段と地味になった。これが十七の時。

そして今、婚期なんてもうとっくに過ぎていて、つらい現実を少しは受け止められるようになった。もう九年間同じ窓から同じ景色を見ている。そこに広がるのは、美しく燃えるように鮮やかな夏の花も枯れ、深い色を帯びた秋の花も枯れ、花は確かに有るけど物足りない冬の景色

そんな寒そうな景色に反して、わたしのいるこの場所は暖かくて後宮の中でも最上級にあたる豪華な部屋。豪華ではあるけれど後宮に

入る前に見たことのある細工師の部屋に似ている、貴族の娘が使う  
とは思えない部屋。

今、二十となったわたしは、この部屋を出ようと思っ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0961z/>

---

不器用な細工師in神殿

2011年12月3日19時02分発行